

学力向上授業改善プラン

北杜市立長坂小学校

平成28年度 学校教育目標

自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる 長小の子

国語科授業の改善点

- ①読む目的を明確に持たせる。
- ②文中の言葉に立ち返って読みを促す発問や指示の工夫をする。
- ③目的に応じた対話をする。
- ④読み取ったことや、自分の考えを書かせることで振り返らせる。

社会科授業の改善点

- ①資料の読み取りの仕方を系統的に継続して指導する。
- ②多様な考えが児童から引き出せるように資料と発問の工夫をする。
- ③資料や情報から自分の根拠を大切に、学び合いながら課題解決できる授業展開を工夫する。

研究主題 **対話し、学び合う児童の育成**
～「見通す・学び合う・振り返る」学習活動を通して～

- ①授業規律の徹底、聞くこと、話すこと
- ②対話力向上のスキルトレーニング
- ③言語環境の整備 ④読書活動の充実

研究仮説

「見通す・学び合う・振り返る」学習活動において、対話を取り入れた学び合いの授業を工夫すれば、児童に、思考力・判断力・表現力を育むことができるであろう。

- ①「家庭学習の手引き」にそった家庭学習の習慣づくりと親子の関わり
- ②親子読書や家読の推進

児童に育む力

- ①対話力（話す力と聴く力）の育成
- ②必要な情報を的確に読み取る力の育成
- ③語彙や、用語などの知識の定着と感性の育成
- ④社会的事象と資料・体験を関連させる力の育成
- ⑤一斉学習から学び合う学習へ！学び合う力の育成

	あいさつ	授業の導入（見通す）	授業の展開「かんがえる」「ふかめる」（対話する）	授業のまとめ（振り返る）	あいさつ
授業の基本的な流れ	C「きをつけ」 C「これから〇〇の授業を 始めます」 C「はい」 あいさつも学力 C「礼」 C&T「始めましょう」	1 学習の目的と見通しをつかませる。 ①めあてをつかむ ②学習の見通しを確認 ③児童が声に出す場 *音読やめあての確認 *課題・探求・対話という流れを基に *導入は復習では無く、黄金の時間に	2 自分の言葉で対話する。 ①相手の意見を大切に、 あいづち・うなずき・返事 などの反応をする。 ② 根拠をもとに 、自分の意見を持たせる。 ③書かせる。(100字程度) ④話し方名人・聴き方名人をめざす。 ⑤何のため・何について・どんな方策で・どうするかという 対話の見通し を持たせる。 ⑥対話して学んだこと、高まった姿を明確に。 ⑦ 教師の発問でゆさぶる。	3 学び合い（対話）を振り返らせる。 ①めあて（課題・問題）に対するまとめを書く。 ②自分の学び（今日の学び）を振り返り、次時の学習につなげる。	C「きをつけ」 C「これで〇〇の授業は 終わります」 C「はい」 C「礼」 C&T「終わりました」
	・さっと行動 ・声をそろえる ・集中	・高まった点を ・素早く書く ・評価を生かす	・児童のなぜを、大切に、次時につなげる。 ・児童の目線で、対話のつまづきや対話の成立を振り返る。		

スキルアップ

- ①学級集団づくりのためのソーシャルスキル・トレーニング
- ②対話力向上のための話す・聞くスキル・トレーニング

群読・朗読

- ①朗読や群読をする。
- ②文章の暗記をする。
- ③人前で話をするときは、人の目を見て話す。

朝の読書

朝の決められた時間に読書をする。進んで、長編や、推薦図書にチャレンジさせる。全校読書量を向上させる。

家庭学習

各学年の時間を家庭学習する。1～2年は30分、3年は40分、4年は50分、5年は60分、6年は70分をめざす。

調べ学習

図書室、国語辞書、インターネット等を使って調べたことをまとめる。調べたことを学習に生かしたり教え合ったりする。

家読への取り組み

家族みんなが家で読書する。親の読み聞かせ・親子の一人読み・親子の交替読み・感想カードへ記入する。

学習規律の徹底

- ①話し方や聴き方
- ②声のものさし
- ③わからないと言える。
- ④わからない人に教えてあげる。

計画・授業改善プランの作成

本校の課題・改善に向けての方策
具体的な取組（授業の構想）

P

実践・授業実践

授業改善プランに基づいた授業実践
見通す振り返る 対話のある学び合い
学習環境の整備

D

評価・学力調査結果の分析

実践の検証
（学力調査やアンケート調査の結果・
研究の成果と課題の検討）

C

改善・授業改善のポイント

指導計画・授業改善プランの改善
授業改善・個に応じた指導
授業を支える取組の改善

A